

# 鳥取県青少年育成アドバイザー協議会通信

鳥取県青少年育成アドバイザー通信 37号

鳥取県青少年育成アドバイザー協議会

発行日 2003. 12. 25

編集 芳村恵子

〒680-0002 鳥取市浜坂東 1-10-15

## 遠くて近い話

森岡敏人

この頃は、自然環境や社会環境、人間環境にも、何でもありのような不調和音が多く聞かれ、心が痛くなってしまう。こんな時にすっきり晴れた秋の一日、青い空にあうと、ほっとなごみを取り戻したような気持ちになります。

園庭で遊ぶ子ども達の声が耳をくすぐり、砂場や水場でのあどけないしぐさがことさらかわいく目に映り至福の時でした。

今日はまた、入院で病床にあったN子ちゃんが、五ヶ月ぶりでしょうか、園生活に慣れるように、回復の刺激にもなればと、お母さんの思いで共々に来園してくれたのでした。

薬や治療からか、顔の腫れと脚のか細さ、容姿がととも変わって痛々しいかぎりでしたが、友達が早速取り囲んでのやさしいひと時を過ごしました。

『やさしさは、真実に勝る』彼のゲーテも言っていますが、そんなこんなのかかわりが嬉しかったのです。

その上、今日は久しぶりに或る方とお会いしました。軽い脳梗塞とパーキンソン病をなさったことを知りました。しかし昔と変わらず、つつむような笑顔と生きることへの美学とでもいい話に接し、快い感慨をもらったのでした。

パーキンソン症候は、高齢者の難病のひとつで、たしか、いまは右脚の軽い不自由も、中枢障害の進行に伴い、随意運動もままならず、手足のふるえも加わり、表情も仮面化へと進む…と承知しています。

お別れに、

「えっとえっと使ったからだですけん、お互いだいにしましょう…、元気のもとには好奇心と程々のおしゃれ心でしょうかねー。」と申しますと、  
「あげですがん…娘たちにも言います。おじいちゃんは、綺麗に歳をとってな〜って。それがなかなか難しいことですがな〜。」と、いい笑顔を見せてくださいました。

頬笑みの久しからんことを願いながらお別れしたのでした。人と人、会うことはなんとしてもいいこ

とだと思いつつ、いろいろと反芻しながら帰りました。

年齢・性別・職種や地位などに限らず、お会いし言動から滲むあたたかい人柄に触れると、あのようになりたいものだと泌々おもったりするのですが。

現実、私などはおもいに反して、いたずらに歳だけは重ね、まったく恥多い生き方ばかりしています。

ある日、ある時、ある人と巡り合いかわり合って、いい時が流れると、人は幸や元気などもらい、なんとも満たされた気分になるものです。

『癒し』という言葉がこの頃よく使われます。背景には、それどころでない多忙さ、神経すり減らし、トゲ立つ現実をかかえているのでしょうか、誰もが知らぬ間に、迷路やディレンマに嵌まり込んでいる証なのでしょうか…。

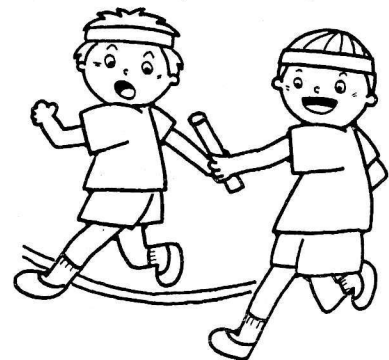
自然環境・社会環境はもとより大切ですが、行政や市民活動のなかで努めるとして、もう一つの環境『人間環境づくり』を思惟し、自分に引き寄せて実践することではないかと憶ったのです。

人は人とかかわりの中で『人』となる。そして、こう言っている自分自身もまた、環境でもあれば、人とかわる感性も磨きたい、よく自省すれば自分の生き方にもつながり、課題・命題ともなり得ると考えるからです。

『〇〇が変われば、青少年も変わる』と。秋のいい日和にすっかりはまってしまいました。

ごめんなさいー。あすは快晴、園は運動会なのです。

育成アドバイザーという仲間の鏡に自分を写して身づくろいできる幸をおもいながら…。



—10月中旬に、頂きました。この心温まるお話、一日も早く皆様  
に伝えたかったのですが、季節が変わってしまいました。—

## 親の背

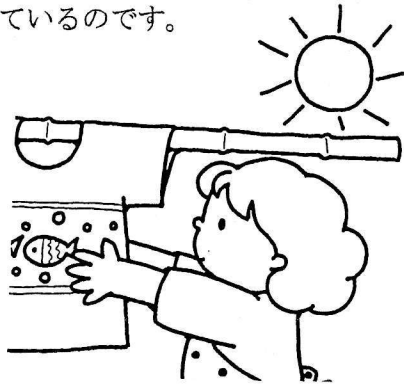
東 邦子

最近「片付けられない人」という話題がテレビでも放映されて、その見事なゴミの山と化した部屋の中を見せて貰いました。こんな人もいるのだと、啞然としたものですが、よく考えてみると私の近くにもそんな人がいます。

布団は部屋一面にしきっぱなし、衣類は部屋の隅にうず高く積んである。部屋中に散らばっているゴミ。子ども達が登校しようと、その衣類の山をかき分けて自分の洋服を探し出す。かき分けられた衣類は、そのゴミだらけの床に散らばる。お菓子を食べればその空袋は足元に…。

一事が万事そのような状態なので、畳はすぐに見えなくなり、足の踏み場がなくなるのです。

最初はやんちゃ盛りの子も達がそうするのだろうと思っていたのですが、よくよく観察してみるとお母さんがそうしているのです。



「親の背を見て子は育つ」と言われますが、その通りなのです。(この場合は逆の意味なのですが…)母子家庭で親は収入を得るために働きに出なければならない。子どもの日常生活のルールや躾がまったくというほど出来ていません。三人の子もは不登校です。学校で嫌なことなどは特になく、ただ朝起きるのが嫌で、布団にもぐってゴロゴロしていたい、好きなビデオを一日中見ていたい、そんな単純な理由で学校に行けないのです。

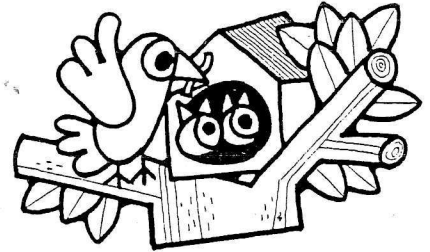
児童問題専門の先生は、「お母さんを支援することから始めましょう」と言われます。

学校の先生と私が出した支援の方法は、朝子どもを起こしに行くこと。子ども達を起こし、布団や衣類を片付けることを始めました。これを見て、お母さんも何かを感じてくれるだろうと期待していましたが、私の考えは甘かったようです。

半年間程経ちましたが、親子の生活は一向に変わりません。すっかり、私と先生方に任せられてしま

ったようです。お母さんが少しずつでも私たちに信頼してくれている…ということを確認して、もう少し頑張ってみようかなと思っていますが、これ以上どのような関わりが出来るのか、どのような対応をしたら良いのか苦慮しているところです。

ご指導していただけたらと思っています。



我慢・我慢・我慢の子を育てよう

岩崎 清江

11月の新聞に、「14歳未満犯罪警察調査権」と大きな見出しが載っていた。内容は、凶悪化する少年事件に対応するため、14歳未満の犯罪について警察が捜査に準じた「調査」を行える法整備の他、少年院送致できるよう少年院法の改正を改めて検討することを明記したものである。少年事件の凶悪化を受け、悪質事案の厳正な対処を基本とし事件解明を徹底する、厳しい姿勢を表したものである。

なぜ、法を整備しなければならないほど低学年の凶悪犯罪が増えているのか。法の整備も必要だが、低学年の凶悪犯罪増加を考えてみる必要がある。

神奈川県でメンタルクリニックを開業されている加藤由起子氏は「思春期は、親から与えられた古い自己概念を破壊し新しい自己概念を確立しつつある時で、危機的な時期である…」と言っている。

思春期に不適応を起こす背景因子として、思春期における発達課題達成の失敗、環境要因(家庭・学校・地域社会)、発達障害、精神疾患の発病をあげられた。また不適応を起こしやすい子どもとして自分の気持ちを意識化したり、表出したりすることが困難な子どもや、完璧主義的傾向が強い子ども、そして優秀で失敗経験の少ない子どもなどがあげられた。

特に環境要因として家庭・学校・地域社会の関わりを話された。家庭においては、親の養育態度(過干渉・支配的・無関心)虐待、両親の不仲、同胞の不和を、学校では教師・友達関係の悪化、いじめ、成績やクラブ活動における競争の激化が、そして地域社会では、転居・災害・人間関係など示唆深く納得しこれらを基に推考した。〈次のページに続く〉

事件を起こす背景は複雑多岐にわたるが、どこかを切り離す必要を感じた。

思春期の自己概念が、確立しつつある未熟な状態で、世の中に氾濫する情報に左右され「心」より「物」を重視する傾向（10代の子どもをターゲットにした商品開発・物に価値があるかのように流される情報）、雑誌では、心より見た目重視の記事（例えば、ダイエット特集やブランド品の最新情報）により、欲しい物が次々と出てくる。

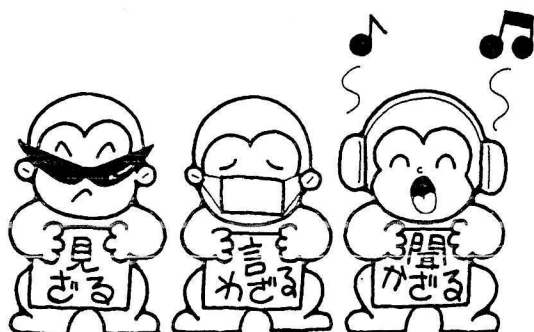
親は子がかawaiiのが先に立ち、我慢させることなく買い与える。親が無理だと自分でアルバイトをするが、学生のためバイト代が少ない。ブランド品など高価な物が買えない…。それでもどうしても欲しい子はローンを組んだり、楽しんでお金を欲しい子は援助交際をしたり、いじめ相手の子にお金を請求したり…。



少し思い切ればこういう事が可能な世の中のため、子どもたちは面白半分に出し、簡単にお金や物を手に入れることができる。これでは、金銭感覚が狂い、まじめに仕事をする大変さ、責任感など身につかないまま、我慢する必要もなく、自分自身を大事にできない。

結局、物や人の大切さが解らない。そのため、ゲーム感覚でしたつもりが犯罪へとつながる。

収入のない学生に組ませるローン・援助交際をしたがる大人やそういった情報を提供する業者に私は憤りを感じる。



## <事務局よりお知らせ>

皆さ一ん。お元気ですか。

元気が一番。

元気があればなんでも出来る。

「はぐくみ7号」、原稿がなかなか集まらなくて完成することが出来ません。

皆様のご協力をお願いします。

アドバイザーの名簿も、早く提出をお願いします。

また、2月7日に、アドバイザーの研修会を予定しています。

皆さん、予定に入れておいて下さい。

忘年会の参加者が少ないです。

新年会に変更しようかなあ。などと思っています。

お願いばかりですみません。宜しくお願いします。



## 編集後記

2003年も後僅かになりました。皆さんにとって今年はどうな歳だったでしょう。

「一年の計は元旦にあり」と、それなりに目標を掲げたはずですが…。また更なる目標を考える日を目の前にして、自分自身を誉めてみたり、嘆いてみたり…。

来年は申年。『見ざる・聞かざる・言わざる』でなく、しっかり見て、聞いて、話し合っ、また一つ良い歳を取りたいと思います。

来年も、通信に対するご協力、宜しくお願いいたします。